□には、リンクがあります。※は、WAMNETの事業者情報にリンクします。外部評価の結果

事業所名	グループホーム　八幡の里
日付	平成18年9月20日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	① 介護支援専門員・看護士 ② 訪問介護員2級

自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）

評価項目内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）

事業者のコメントを見る
（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります）※

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

医療法人が母体となっているので、緊急時等には依り迅速に対応ができ、安心した生活が送れる。

ホームの近くにコンビニやスーパーマーケットがあり、市街地にも近く、交通や買い物にも便利な環境にある。

あたたかく思いやりのある生活を大切にした取り組みを行っている。

特に改善の余地があると思われる点

特にありません。

Ⅰ　運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		

地域に密着した家庭的な雰囲気の中で、自分らしく暮らしてもらえるホームづくりをめざしている。

地域に根ざした医療法人が母体となっているので周りの理解も比較的得やすく、ホームの近隣にはコンビニやスーパーがあり、生活しやすい環境が整っている。

Ⅱ　生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり	○	
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり	○	
4	建物の外周りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場つくりとして取り組んでいるものは何か。		

自分の力で動ける事を大切に考え、ホールや居室など、各々好みの場所で自由に過ごせる環境づくりに取り組んでいる。

Ⅲ　ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		○
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

Ⅲ　ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人の力と経験の尊重やﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ保護の為取り組んでいるものは何か。		

入居者一人ひとりのペースを崩さないよう、希望・習慣を尊重した支援を行っている。

プライバシーを配慮したケアで不安や羞恥心の保護につとめている。

Ⅳ　運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		

職員間の質の格差を埋める為、研修や意見交換の機会を設け、質の向上を計る努力をしている。

問題発生時は早めに対処し職員で話し合い、解決するよう努力している。

このPDFは pdfFactory 試用版で作成されました www.nsd.co.jp/share/